

東芝リモコン送信器 (ON/OFFタイマー付) 取扱説明書

保存用

お客様へ

- このたびは東芝製品をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
- お客様がお読みになったあとも本書は必ず保管してください。

工事店様へ

- 工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様にお渡しください。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合及び物的損害の発生が予想される内容を示します。	湿度 ●このリモコンは非防水です。屋外や湿気の多い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	改造 ●リモコンを分解や改造したり、部品を変更しないでください。火災・感電の原因となります。
	高温禁止 ●温度の高い場所では使用しないでください。暖房器具・ガス器具の真上、付近等では使用しないでください。火災の原因となります。

■商品の概要

※弊社指定の照明器具専用です。

◎全光、調光、常夜灯、消灯の切替がリモコン送信器で操作できます。

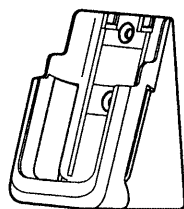
◎タイマー予約で自動点灯、自動消灯が可能です。設定した時刻になると、照明器具に信号を送って、調光状態または消灯状態にできます。

・時計機能付です。(時計の精度は月差30秒以内です。)

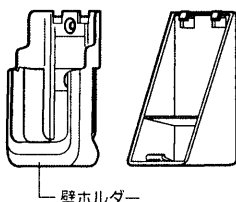
◎ワンボタン簡易タイマー付きです。オフタイマー、かんたん入タイマーで選択した時間後に消灯状態または点灯状態にできます。

■リモコン送信器付属品

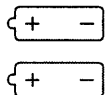
卓上ホルダー (分離型)



分離して壁ホルダーとしてもご使用いただけます。



単4乾電池 (2本)

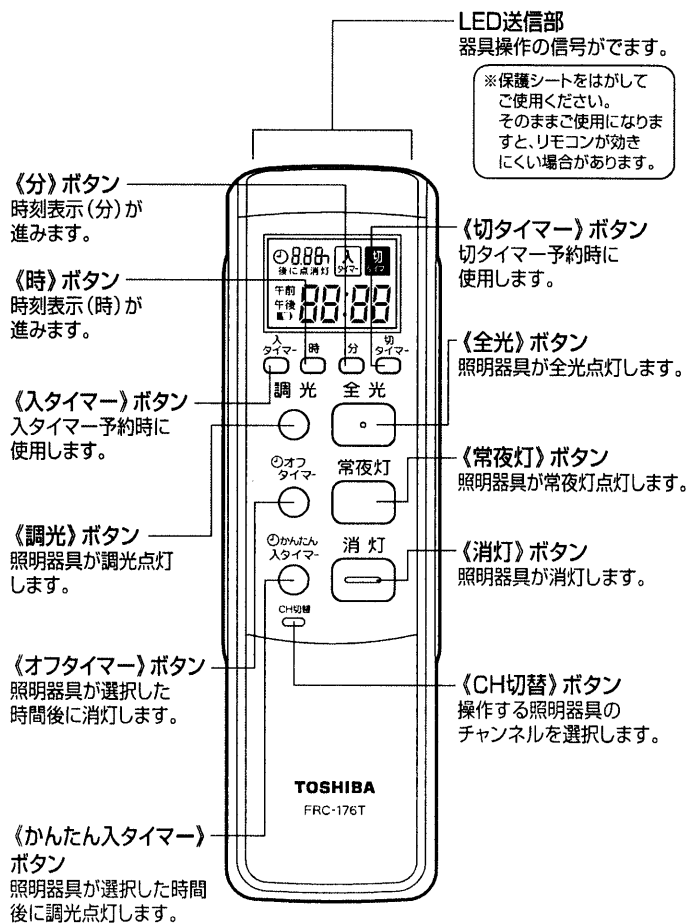


取付用木ねじ (2本)



■各部の名前とはたらき

リモコン送信器 FRC-176



※リモコン本体の前面およびLED送信部には保護シート(透明)が貼ってあります。

■液晶表示パネルについて

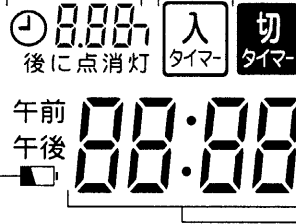
※説明のため、全部を表示しております。実際にはこの表示にはなりません。

●かんたんタイマー設定

オフタイマーまたはかんたん入タイマー設定時に表示します。

●電池残量表示

電池の残りが少なくなると表示します。マークが表示されたら、電池を2本とも新しいものに交換してください。※リモコン機能が正しく動作しません。



●入タイマー予約表示

入タイマーを予約した場合に表示します。

●切タイマー予約表示

切タイマーを予約した場合に表示します。

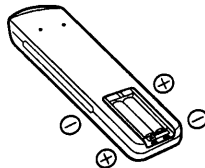
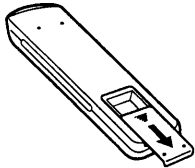
●時計表示

現在時刻を表示します。予約内容を確認した場合は、予約時刻を表示します。

■リモコン送信器への乾電池の入れ方

①裏面のカバーを軽く押さえながら手前に引いてください。

②単4乾電池を表示にあわせて極性+をまちがえないように入れて、カバーを閉めてください。



ご 注 意

- 乾電池交換の際は必ず同時に2本とも交換してください。動作不良の原因となります。
- 長期にわたり、リモコン送信器を使用しない場合は、電池を外しておいてください。液もれなどでリモコン送信器をいためる原因となります。

リモコン送信器の平均電池寿命は1日10回の使用の場合約9ヶ月がめやすです。

■時計の合わせ方

注意) 時刻設定が正しくされていないと、予約したい時刻に動作しません。

<電池投入時>

※電池投入後60秒間は「午前0:00」が点滅します。

①《時》ボタンで時刻を合わせます。

《時》ボタンを押すごとに1時間単位で進みます。※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。

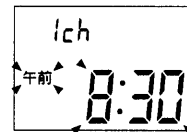
②《分》ボタンで分を合わせます。

《分》ボタンを押すごとに1分単位で進みます。※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。

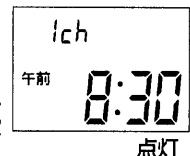
③《入タイマー》ボタンを押して決定します。



例) 午前8:30に設定する場合
点滅から点灯になり完了。



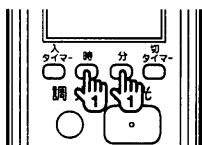
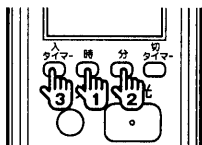
《入タイマー》
ボタンで決定



<時刻を変更するとき>

①《時》+《分》ボタンを同時に3秒間押します

②「電池投入時」の①～③と同じ手順で時刻を登録します。

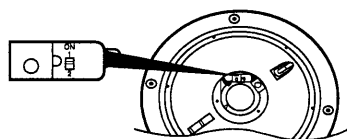


■照明器具とリモコン送信器のチャンネルの合わせ方

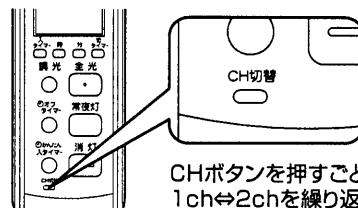
①照明器具のセードを外します。

例: 1ch設定する場合照明器具のチャンネルを1にします。

②リモコン送信器のチャンネルを1に合わせます。

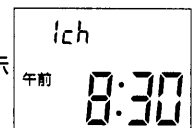


※照明器具のチャンネルとリモコン送信器のチャンネルを同じチャンネルに合わせてください。チャンネルが合っていないと操作できません。



CHボタンを押すごとに
1ch⇄2chを繰り返します。

液晶画面に
「1ch」が表示

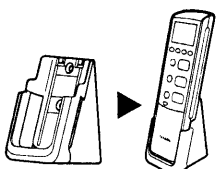


※出荷時は1chに設定してあります。

■リモコンホルダーのご使用方法

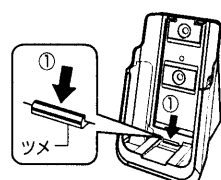
<卓上ホルダー>

卓上にリモコンを置く時に使用します。タイマー設定時には、器具にリモコン正面を向けて、ご使用ください。

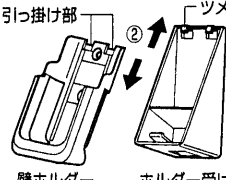


卓上ホルダーは分離して、壁ホルダーとしてもご使用いただけます。

①卓上ホルダー下部にあるツメを↓の方向に押します。



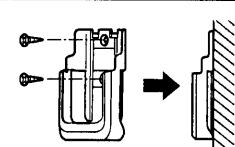
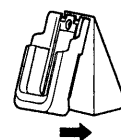
②矢印の方向にスライドさせると分離できます。



<卓上ホルダーとしてご使用になる場合>

(組み立て方)

壁ホルダーの「引っ掛け部」にホルダー受けの「ツメ」を合わせて→の方向に押すと卓上ホルダーになります。



ご 注 意

壁掛けホルダーに入れたままで、リモコンがききにくい場合はホルダーから送信器を外して器具に向けてください。壁掛けホルダーにいれたままで、リモコンがききにくい場合は、その場所でのタイマー予約はおやめください。

ON/OFFタイマーの設定のしかた

■入タイマーを予約する

タイマー機能を使って照明器具を「調光点灯」させることができます。

※時計を正しい時刻に設定しておいてください。
(「時計の合わせ方」参照)

例) 午後7:30に入タイマーを予約する場合。

1、《入タイマー》ボタンを押します。

画面が点滅します。

※工場出荷時は午後6:00に設定してあります。

2、《時》、《分》ボタンで時刻を決めます。

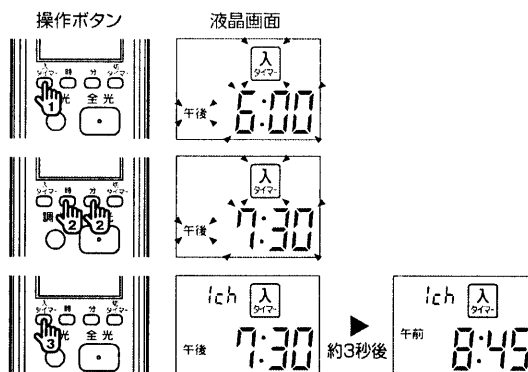
《時》ボタンを押すごとに、1時間単位で進みます。

《分》ボタンを押すごとに、1分単位で進みます。

※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。

3、《入タイマー》ボタンを押します。

液晶画面が点滅から点灯に変わり「入タイマー」が液晶画面に表示され予約完了です。
(約3秒後に現在時刻の画面に戻ります。)



■切タイマーを予約する

例) 午後11:30に切タイマーを予約する場合。

1、《切タイマー》ボタンを押します。

画面が点滅します。

※工場出荷時は午後9:00に設定してあります。

2、《時》、《分》ボタンで時刻を決めます。

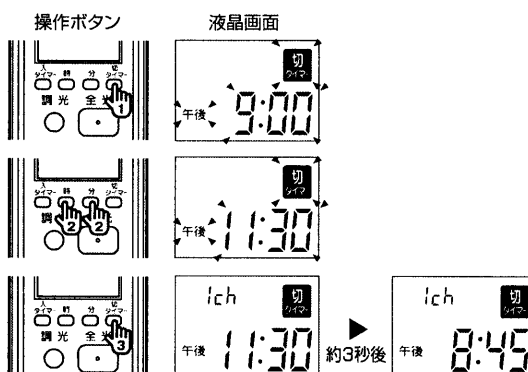
《時》ボタンを押すごとに、1時間単位で進みます。

《分》ボタンを押すごとに、1分単位で進みます。

※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。

3、《切タイマー》ボタンを押します。

液晶画面が点滅から点灯に変わり「切タイマー」が液晶画面に表示され予約完了です。
(約3秒後に現在時刻の画面に戻ります。)



■タイマーの予約内容を確認する

例) 「入タイマー」の予約時刻を確認する。

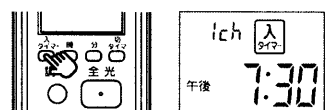
※液晶画面上に「入タイマー」表示されている状態で、

①《入タイマー》ボタンを1回押します。

現在の予約時刻を表示します。

(約3秒後に現在時刻の画面に戻ります。)

※切タイマーの予約時刻の確認も「切タイマー」ボタンを1回押します。



■タイマー予約を解除する

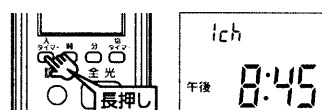
例) 「入タイマー」の予約を解除する場合。

※液晶画面上に「入タイマー」表示されている状態で、

①《入タイマー》ボタンを3秒間長押しします。

「入タイマー」表示が消え現在時刻表示に戻ります。

※切タイマーの予約を解除する場合も「切タイマー」ボタンを長押しします。



■タイマー予約中の設定時刻を変更する

例) 「入タイマー」の予約時刻を変更する場合。

※液晶画面上に「入タイマー」表示されている状態で、

①《入タイマー》ボタンを3秒間長押しします。

②「入タイマーを予約する」1～3の操作をします。

※一度解除しないと予約時刻の変更はできません。
※切タイマーの予約時刻を変更する場合も、一度予約を解除してください。

ワンボタン操作でかんたんタイマー設定ができます。

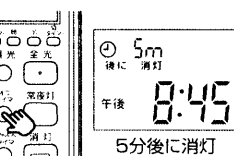
■オフタイマーを使用する

ワンボタンで設定した時間後に照明器具が「消灯」します。

①《オフタイマー》ボタンを押します。

オフタイマーの時間は5分、10分、15分、30分、60分から選べます。

5→10→15→30→60分後に消灯
↑ ch表示 (キャンセル) ↓



→: ボタン操作

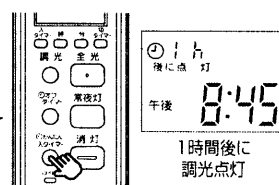
■かんたん入タイマーを使用する

ワンボタンで設定した時間後に照明器具が「調光点灯」します。

①《かんたん入タイマー》ボタンを押します。

かんたん入タイマーの時間は1、2、3、6、9、12時間から選べます。

1→2→3→6→9→12時間後に点灯
↑ ch表示 (キャンセル) ↓

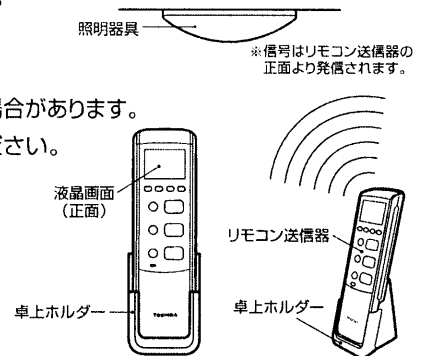


→: ボタン操作

※《オフタイマー》と《かんたん入タイマー》は併用できません。

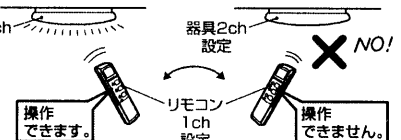
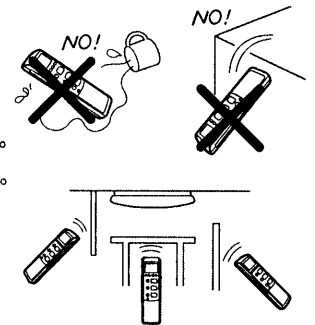
■タイマー予約における使用上のご注意

- 壁スイッチは必ずONにしてください。
- リモコン送信器と照明器具の距離が離れすぎるとリモコン信号が届かない場合があります。
付属の卓上ホルダーにリモコン送信器を置き、照明器具へ向けて必ずリモコン操作ができることを確認してください。
- 卓上ホルダーを本やふとんの上、斜面などの不安定な所に置かないでください。
※転倒した場合、信号が照明器具に届かなくなる場合があります。
- 器具と送信器の間に、しゃへい物が無いことをご確認ください。
- 天井の高さにより受信範囲が異なります。2.4mを超える天井高さでは効きにくい場合があります。
これを超える場合は床置きではなく、テーブルなどの家具に置いて使用してください。
- 卓上ホルダーに置いた場合は器具真下から約3mが受信範囲になります。
- 卓上ホルダーにリモコン送信器を正しい向きにセットしてください。(右図参照)
- 卓上ホルダーをご使用にならない場合は、正常に動作しない場合があります。
- 直射日光のあたる所には送信器を置かないでください。
- ストーブや、ファンヒーターの吹き出し口近くには置かないでください。



■リモコン使用上のご注意

- 付属のリモコン送信器は、当社照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。
- リモコンは壁スイッチがONのときのみ切り替えできます。
- リモコン送信器で消灯した場合、マイコンを使用しているためわずかな電流が流れて約1Wの電力を消費します。長時間お使いにならないときは必ず壁スイッチを切って節電を心がけてください。
- リモコン送信器は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因となります。
- リモコン送信器の周囲に図のようなしゃへい物がある場合は、受信機が動作しない場合がありますので、その際はしゃへい物を避けて、再度ボタンを押してください。
- 天井、壁、床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。
- リモコン送信器の送信部、器具のリモコン受光部は汚れますと動作しにくくなりますので乾いた布でふいてください。又、電池が消耗してくると動作しにくくなりますので、その際は新しい電池と交換してください。
- この照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器などを使用すると、リモコンが正常に作動しないときがあります。
- 点灯直後、全光時や調光時、リモコンで切替えにくい場合があります。その際はしばらくしてから切替えてください。
- リモコンで消灯した場合、停電が発生した際ブルスイッチレス機能が働き全光点灯などになることがあります。
- 1つのリモコン送信器はチャンネルに合わせた信号しか送信できません。
2台の照明器具を1つのリモコンで操作する場合は、照明器具のチャンネルとリモコンのチャンネルを合わせて操作してください。



■故障かな?と思ったら。

現象	考えられる原因	処置
リモコン送信器で照明器具が操作できない。	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。
	照明器具とリモコン送信器のチャンネルが合っていない。	チャンネルを合わせてください。
	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。
	蛍光灯ランプが切れている。	蛍光灯ランプを交換してください。
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。
	リモコン内のマイコンが暴走している。	電池ふたを開けて、先の細いものでリセットボタンを押してください。(右図参照)
予約時刻になっても動作しない。	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。
	時刻が合っていない。	時刻を合わせてください。
	照明器具に信号が届いていない。	卓上ホルダーに置いて照明器具が動作する場所に置いてください。

